

久保幸治議員



- 耕作放棄地と獣害対策について
- 学校給食の無償化について
- 雇用促進住宅鹿谷宿舎について

その他の質問
・子育て支援について

一般質問

問 米の直接支払交付金が、来年から廃止になり、農家の高齢化や担い手不足などで農業人口が減少する中、農地の荒廃（耕作放棄地の増加）や、増える獣害の対策について、
答 ①米の直接支払交付金の廃止による遊休農地、荒廃農地、耕作放棄地の増減の予測とその対応。②市が行ってきた獣害対策支援の効果の検証は行ったか。③シカ、サルなどの新たな鳥獣被害の調査、研究、対策は行っているか。
答 ①国においては、米の直接支払交付金が29年度の米までしか支払われないうえ、遊休農地が増えることが懸念される。農業者の高齢化、将来の担い手も少ない状況において、集落営農を進めることで、農地の集積・集約化を図り、組合員が農業の担い手となることで、地域の振興と農地の保全を図ることができると考える。
 ②整備後の農家の聞き取りにより効果があったと回答を得ている。
 ③サルの追い払い用煙火の講習会を実施し、シカは捕獲対策を行っている。

問 学校給食の無償化は永平寺町でも行われている。生きる基本の食育の推進、子育て中の費用負担の軽減、手厚い子育て支援の街としての市の宣伝など、市民に多くのメリットがある学校給食の無償化を市の政策として検討する考えはないか。
答 学校給食法の定めにより、多くの自治体では食料費の保護者負担を基本としている。しかし、勝山市は、中学校では保護者負担分に対して1食あたり219円の補助をしている。無償化は経費の面から容易ではないが、今後の研究課題としたい。
問 人口減少の中、移住・定住・雇用の促進に向け取得交渉を行っている、雇用促進住宅鹿谷宿舎（サンコーポラス）の進捗状況の説明を求めます。
答 鹿谷宿舎取得の意向を昨年12月に伝えたが、既に、現在公告中の2回目の民間売却のための入札手続きが進んでおり、鹿谷宿舎のみをその対象から外すことはできないとの回答を頂いた。2回目の入札結果については速やかに議会に報告する。

松山信裕議員



- MICE誘致について
- 自主防災組織連絡協議会の創設について
- 村岡山の市指定文化財について

その他の質問
・環境政策について

一般質問

※MICEとは、ミーティングのM(会議)、インセンティブ・トラベルのI(研修旅行等)、コンベンション、カンファレンスのC(国際会議や学術会議)、エキシビジョンのEの頭文字をとった造語。ビジネス・トラベルの一形態を指し、沢山の集客や交流が見込まれるビジネスイベントなどを総称した呼び方です。

問 市民、各種団体、委員会等により、いろいろな会議、研修を誘致して市と共催、協働して開催していくことで、交流人口の増加と地域経済の波及効果やシティプロモーション効果がある。
答 民間活力と勝山市の魅力を活かしたMICEの誘致、開催に積極的に乗り出すべきではないか。
問 勝山市の宿泊キャパシティや会場となる施設の状態から、他市と比べると、誘致できる大会の規模は限られるが、今後も福井観光コンベンションビューローとの連携を密にしながらかうした大会の誘致に向け取り組んでいきたい。
問 各地区自主防災組織の活動状況や様々な取組、自主防災組織間で情報共有できる体制を整え、適正な活動の促進、育成、防災訓練、防災教育などを進めて地域全体の防災力を底上げし、組織力の向上を図ることを目的に自主防災組織連絡協議会を創設するべきではないか。
答 自主防災組織が横断的なつながりを持つことで、情報交換や意見交換

をすることができ、互いに切磋琢磨することで地域全体の防災力がレベルアップできると考える。自主防災組織連絡協議会の本年度中の創設を目指して取り組み、地域防災力の向上を図る。
問 勝山の地名は、一揆勢が立てこもった御立山、通称村岡山を「勝ち山」と呼んだことから起こったと言われている。歴史的な価値も高く評価され、村岡地区の保存活動もしっかりとされている。
問 村岡山を未来に残す遺産として、市指定文化財に指定すべきと考える。
答 村岡山城跡については、山頂から中腹にかけて広がる城跡の保存状態が良く、山城の研究者の評価も高いことから、指定文化財の価値は十分ありと考えている。
問 地元地区からの要望も頂いており、これまでも文化財保護審議会をはじめ種々議論を深めてきた。今年度はまず地権者等のご了解のいただける部分を確認し、市の文化財指定に向けた準備を進めていきたい。